

データサイエンス・AIを学び、実践する。

東京工業大学 データサイエンス・AI全学教育プログラム



2023年度の教育プログラム 履修者を募集します

エキスパートレベル(修士課程・博士後期課程学生向け)

履修登録はこちら

<https://www.dsai.titech.ac.jp/program/>



プログラム履修案内

今日のデジタル情報化社会においては、数理・データサイエンス・AIの果たす役割が急速に大きくなっており、社会生活、産業、研究開発などあらゆる分野において基盤となり始めています。これに対し東京工業大学では、理工系総合大学である特徴を活かし、専門分野に依らず将来的にデータサイエンス・AIを駆使して問題解決ができる能力を身につけた人材を育成するため、リテラシーレベルからエキスパートレベルまでのデータサイエンス・AIに関する一貫した教育を行うことを目的とした全学教育プログラムを実施しています。

データサイエンス・AI 全学教育プログラム エキスパートレベル

修士課程・博士後期課程学生向けとした教育プログラムであり、自身の専門に依らず必須となる数理・データサイエンス・AI のエキスパートレベルの知識や実践スキルを習得すること目標とします。

修了要件

修士課程学生

科目群 (A) から2単位、科目群 (B) から2単位の取得を修了要件とします。

科目群 (A)

基盤系科目: 基盤データサイエンス、基盤人工知能

科目群 (B)

基盤系科目: 基盤データサイエンス演習、基盤人工知能演習

応用系科目: 応用AI・データサイエンスA~D

実践系科目: 実践AI・データサイエンスA~C

博士後期課程学生

科目群 (A') から2単位、科目群 (B') から2単位の取得を修了要件とします。ただし、修士で修得した科目群 (A) や科目群 (B) の単位も組み込み可能であるので、詳しくは学修案内を参照してください。また、実践系科目は400番台なので注意してください。

科目群 (A')

基盤系科目: 基盤データサイエンス発展、基盤人工知能発展

科目群 (B')

基盤系科目: 基盤データサイエンス発展演習、基盤人工知能発展演習

応用系科目: 応用AI・データサイエンス発展A~D

実践系科目: 実践AI・データサイエンスA~C

例外規定があるため、詳細は学修案内を参照してください(学内限定)。

<https://www.dsai.titech.ac.jp/limited/study-guide-expert-level/>



教育プログラムの修了

本教育プログラムの修了者には、修了証として右に示すようなオープンバッジを電子的に交付します。



プログラム構成

エキスパートレベル

大学院
博士後期課程

基盤系発展科目群

応用系発展科目群

実践系科目群

大学院
修士課程

基盤系科目群

応用系科目群

応用基礎レベル

学士課程
(2年次)

応用基礎データサイエンス・AI 第一

応用基礎データサイエンス・AI 第二



リテラシーレベル

学士課程
(1年次)

理工系教養科目(情報)

コンピュータサイエンス第二

コンピュータサイエンス第一

基礎データサイエンス・AI

情報リテラシ第一

情報リテラシ第二